

efit+ for T41 Ver.1.0.4.0 アップデート概要

2014年4月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for T41 Ver.1.0.4.0 で、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for T41 Ver.1.0.4.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+F 測量基本ソフト	B-E1-F00	基本キットに含まれます	日本テラサット対応など
efit+F 測量計算	B-E1-F51		
efit+F RTK/DGPS観測	B-E1-F59		日本テラサット対応など
efit+F 登記観測点検証	B-E1-F61		
efit+F GNSS静止/高速静止観測	B-E1-F01	基本キットに含まれます	通信障害の回避

■ 日本テラサット対応

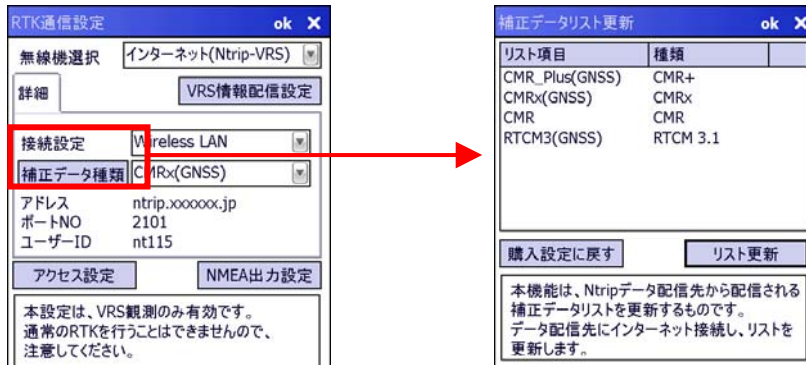
RTK/DGPS 観測、平板観測

◆本バージョンより、VRS 情報配信会社「日本テラサット」を利用して VRS 観測、VRS 測設が行えるようになりました。

◆「ユーティリティ→GNSS 設定→RTK 通信設定→VRS 情報配信設定」の「補正情報配信会社」に「日本テラサット」を追加しました。また、配信サービスは、「VRS サービス」「RRS サービス」の両方が利用できます。

◆「インターネット(Ntrip-VRS)」のアクセス設定のリストに「日本テラサット」用のアドレスを追加しました。「日本テラサット」は、3つのポートで配信が行えるので、リスト項目の右端は、ポート番号を表します。リスト項目を選択すると自動的にポート NO がセットされます。

- ◆「ユーティリティ→GNSS 設定→RTK 通信設定」の補正データ種類のガイドが「日本テラサット」の時のみボタンに変わります。ボタンを押すと「補正データリスト更新」画面を表示します。



補正データリストの更新は、補正情報配信会社のサイトにインターネットアクセスして情報を更新します。現在は、規定のリストと変わりはありません(リスト項目名は違います)が、今後、配信環境などの新たな配信情報が追加された場合などプログラムの変更なしに即座に対応が行えます。

■ 仮想基準点の移動に対応

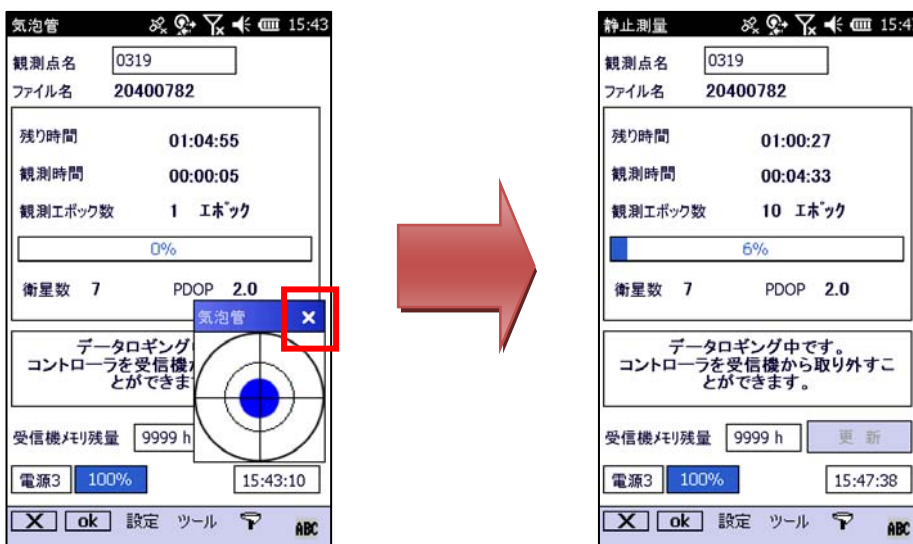
RTK/DGPS 観測、平板観測

- ◆本バージョンより、補正情報配信会社が「ジェノバ」以外の設定でも VRS 観測や VRS 測設中に仮想基準点の移動が行えるようになりました。
- ◆仮想基準点の移動は、インターネット回線を一旦切断し、再接続を行いますので、「切断処理中」「配信サーバー接続中」のメッセージが表示されます。
- ◆仮想基準点の移動に対応したプログラムは、「RTK 観測」「RTK 測設」「RTK 座標コレクタ」「RTK 座標変換登録」です。

■ 通信障害の回避

GNSS 静止/高速静止観測

- ◆「Trimble R10 GNSS」接続中、「通信エラー」が頻繁に発生していたため、電子機気泡管を表示中は他の通信を行わないようにしました。このため電子気泡管以外の画面の表示更新が行われません。画面の表示更新が行われませんが、観測は継続して行っていますので安心してください。



気泡管表示中は、残り時間、観測時間、観測エポック数や現在時刻などは更新されません。

気泡管表示中も観測は進んでいますので、気泡管画面を閉じると、現在の状況を表示します。

以上